

ノートルダム清心女子大学同窓会

会報

第51号

CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 学長挨拶
- 3 理事長挨拶
- 4 2014年度 活動報告
- 6 ホームカミングデー
- 7 ボランティア
- 8 学生支援事業
- 10 支部だより
- 12 総会報告
- 13 文化講座
- 14 同窓会より
- 15 大学からのお知らせ
- 16 ホームカミングデーのご案内



ジュリーホール北側の桜並木より中央棟を臨む



ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 横溝洋子

五月の代議員総会から発足した新年度も、一年を迎えようとしております。その間十七名の理事を中心に、代議員の皆様のご協力のもと、様々な事業に取り組んでまいりました。これからも、各支部とも連携をとりながら、卒業生の皆様が楽しく参加できる同窓会を目指して、活動していきたいと思っております。それが母校の発展の一助となりますことを心より願っております。さて、平成二十六年のホームカミングデーは、十月五日に開催し、午前中

の「生涯教育講座」では、NHKの朝のドラマ「花子とアン」の原案「アン」のゆりかご「村岡花子の生涯」のご著者村岡恵理さんにお話を伺いました。聴講希望の方がとても多く、申し込みは先着順という形にさせて頂きました。まず会報で同窓生の方にお知らせし、その後ポスター、各メディアなどで告知させて頂きましたが、卒業生の中でも聴講できなかった方も多く、申し訳なく思っております。改めましてお詫び申しあげます。続く「同窓生の集い」では、卒業五十年を迎えられた十二期の方と、十九期の方が同期会を開かれました。学長様、理事長様と一緒に記念撮影をしたり、在校生のグリーククラブによるミニコンサートを楽しんだり、充実した時間を過ごしました。

また、毎年十一月の大学祭の時に実施している、本学生対象に奨学金を給付するための活動の一環である奨学生支援バザーも、今回は一昨年完成した生涯教育センターの中のラウンジで行いました。例年のフリージアの会の作品や遊休品の販売に加え、昨年は「マイショップ」を試みました。これは卒業生の方に、いろいろな作品を展示、販売して頂き、その中から一部を寄付して頂くというものです。好評に付き、新年度から本格的に取り組みたいと思っておりますので、皆様もぜひご参加ください。そして年末には、ボランティア部会のエンジェル会が長年の活動に対して、岡山市から表彰されました。今まで関わってこられた、多くの部員の皆様の

ご尽力の賜物だと思います。おめでとうございます。このエンジェル会は、同窓会報のアンケートに寄せられたご意見から始まったものです。皆様のお心がこのような形になりましたことを大変嬉しく思います。さて、今年の十月二十五日の「同窓生の集い」では、米寿をお迎えになられる理事長様からお言葉を頂き、皆様と一緒にお祝いをさせて頂く予定です。ぜひご参加くださいませ。皆様が母校に帰っていらっしやいますことをお待ちしております。

末筆ではございますが、同窓会員の皆様方へ、日頃のご支援を心より感謝し、ますますのご活躍とご健康をお祈り申しあげます。

岡山とナミュール・ノートルダム 修道女会との関わり(二)



ノートルダム清心女子大学 学長 高木孝子

同窓会の皆様、今回も引き続き、岡山とナミュール・ノートルダム修道女会との関わりについて、ご紹介していきたいと思っております。

イエズス会士・デーリング大司教は、一九二三年一月二十八日付の書簡

で、シスター・フランセスにこう説明しました。

岡山が大阪司教区から外される時、私たちの会の司祭と交替します。大阪司教区からの分離の日は、岡山の学校によって決まります。さらに岡山が大阪司教区から分離されたら、私は早速東京から岡山に向かい、少なくとも数年間は教区長として岡山に住むつもりです。どうか早急に決定してください。

ノートルダム会のシスターたちに初めてこの依頼をしてから、もうすでに六か月がたっていたのです。

シスターたちは、大司教の強い要請を受け、新しい宣教のための準備段階に入りました。シスター・フランセスはメリノール会が運営する旅行会社と連絡をとり、太平洋郵船の船を予約しました。

シスターたちが乗船するプレジデント・ウィルソン号は、七月二十二日にサンフランシスコから出航することになったのです。院長のシスター・マリ

公式の契約がまもなく結ばれ、四月十二日、渡米中の総長、シスター・マリア・ジュリアンと同行のシスターたちは、ナミュールに残っていた三名の本部評議員たちにその新しい宣教活動に関しての賛否を投票するように命じました。その結果は「三者とも賛成」でした。それはすぐに総長に電報で伝えられ、新しい宣教は決定されたのです。

デーリング大司教は、シスター・フランセスから手紙を受け取る前、四月二十四日付で書簡を書いていきます。

こちらの宣教活動のため、いろいろなご尽力をいただいたことに対して深

い・クレア・レイヒーをはじめとする六名のシスターたちは、七月二日に鉄道でポストンを出発し、八日、カリフォルニアのベルモンドに向かい、十二日に到着しています。そこでしばらく過ごした一行は、予定どおり二十二日に神戸へ向けて出航したのです。

船は八月九日に神戸に着きました。シスターたちは、宝塚の聖心会の修道院で五日間を過ごし、十四日に岡山へ無事到着したのです。

気品高く生きるということを、私はこの時、しっかりと習い、日本に戻ってからも、相手の態度に対しての冷静さというものを保つよう助けられました。このような自分自身を保つためには、憎しみでない「許し」が必要であり、それはまた、自分を自由にする道でもあるのです。

ヨハネパウロ二世が一九八一年に日本に来られ、広島原爆にふれて話された時のことです。教皇は重要な言葉を残されました。それは、「許しなさい。許さない限り、あなたは、相手の支配下にあります」という言葉でした。

許すということは、自分が自由になるためにも必要なことです。許さない間は、相手が失敗すればいい。今度会ったら仕返しをしてやろう。今、相手はどんな生活をしているだろうとか、相手が気になつて仕方ない思いをなされた経験があまりでないでしょうか。つまり、相手に捕われ、その支配下にあるのです。イエス様も、許すことの大切さを折

プライドと許し



ノートルダム清心学園 理事長 渡辺和子

私は、東京吉祥寺の修練院に三十歳間際で入り、一年半後、修道会の命令で、一人だけポストンの修練院へ行くことになりました。

第二次世界大戦で日本が負けてから、まだ十年でしたが、ポストンのシスター達は、私を温かく迎えてくださいました。一年間の修練後、再び命令によって、後三年とどまって、学位を取得して日本へ帰るようということでした。

その勉強に明け暮れていた頃だったと思います。当時のアメリカでは、まだ人種差別が残っていました。一人のシスターから、その日珍しく黒人講師の話があるから、聞きに行かないか

とさそわれ、私は連れて行っていただけでした。

整った服装の黒人講師が壇に立ち、話し始めるやいなや、聴衆の中の白人グループからのヤジが飛び始めたのです。聞くにたえないヤジにも関わらず、黒人のスピーカーは、立派に話を終えて、壇を降りたのです。

後にアメリカ人のシスターが「ごめんなさい。いやな思いをさせて」と謝りながら、こう言われました。「主催者の白人が謝って、どうして対抗して抗議しなかつたのか、話を中止して壇を降りてもよかつたのに。あなたには、そうした権利があつたのに、と言ったら、こう答えたのよ。『私は、ヤジを飛ばしていた人たちの立場にまで、自分の身を落とせなかつたのです』」

修道院の中でさえ、日本人ゆえに、時に口惜しい思いをすることのあつた私は、これが本当のプライドなのだ。とさとしたのです。「売り言葉に買い言葉」という諺がありますが、ノーブルに

にふれて教えていらっしやいます。あるとき、ベトロが、「他人を何回許したらいいですか、七回までですか」と尋ねた時、「いや、七の七十倍許しなさい」と言っていたらっしやいます。それは四九〇回というのではなく、無制限に許しなさいということなのです。

キリストは、このことをご自分のご生涯の中で、示してくださいました。それは特に、十字架に架けられた時、苦しみの中で、まず仰ったことは「父よ、私をしいたげている人たちをお許しください。彼らは、自分がしていることをわかつていないのだから」という許しを父なる神に求める祈りでした。

さらに復活なさつた折、自分を裏切つて助けようともせず、自分を見捨てたペトロ始め弟子たちを咎めるどころか「平安があるように」と慰めたイエスのはかりない愛と許しでした。

イエスのように自由でありたいと思つています。他人の卑劣さに身を任さないプライドを持つて。

児童学科創設五十周年を祝う会

二〇一四年十二月十四日に、本学カリタスホールにおいて「児童学科創設五十周年記念式典」が開催され、渡辺和子理事長、高木孝子学長、江草安彦初代児童学科長および旧学科教員、現教職員、卒業生約三百人が集い、五十周年の節目を祝った。式典は石原金由七代目学科長の開会の挨拶で始まり、続いて高木孝子学長が「理想の実現のため、必要な鍛錬をおろそかにせず、目標達成に向かって努力を続けていこう」と挨拶された。引き続きおこなわれた講演・対談では、奥山清子元児童学科教授の司会のもと渡辺和子理事長、江草安彦初代学科長が学科新設時の苦労話を語り、最後に片山裕之現学科長から学科の現状と今後の児童学科への思いが語られた。その後、場所を岡山市内のホテルに移し、祝賀懇親会が盛大におこなわれた。



岡山ロイヤルホテルにて

江草先生を偲んで

——先生のまなざし——



初代学科長として、児童学科の土台を築かれた江草先生が、旅立たれたのは三月十三日のことでした。二月の計画を語られていたのに、あまりにも早いお別れとなってしまいました。二〇一四年の十二月十四日、児童学科創設五十周年祝賀会には、創設時の苦労話を予定の時間を越えて熱く語ってくださった。八十八歳の先生の声とお姿に啓発され、もう一度お話ししたかったと学び舎を後にした方も多かったと思います。

今から五十年前の一九六四年、東京オリンピックが開催された記念すべき年、家政学部の中に児童学科が創設されました。定員四十名でした。0期生の十人と、一期生の二十六人を前に三十八歳の江草先生は、張り切って「今に百人にしてみせる」とエネルギーを振りまわっていました。師弟同行の言葉どおりに、だれもが新学科を創っていくという意気込みで、講義だけでなく大学祭や研修旅行なども伝統のある英文学科などに負けないよう励ましながら頑張りました。

江草先生が小児科医師として、岡山

県の山間部の健診中、見聞きする重い障害を持った子供を抱えた母子の状況を救うため、全国に先駆けて、旭川荘に重症心身障害児施設創設に尽力されている時でした。教育学部でなく、家政学部のなかにある児童学科は、医学、心理学、教育、美術、音楽、児童文学などをもとに人間理解を深め、こどもの幸せを高める研究を行う総合科学であるべきだ、と設立の信念を常に強調されていました。重症児がおしめを替えてもらう時、わずかにお尻を動かしたという保育士さんの話に感動された先生が、人間の尊厳や人との出会いと絆を大切にしよう話されていた優しいまなざしを昨日のこのように思い出します。

若い教授陣のもとで始まった児童学科は、江草先生の願い通り、二十五年後の一九九一年には学科定員が百二十人に増員されました。二〇一五年現在、児童学科で学んだ卒業生は六千人を超えていると聞きます。遠くを見つめ、時を読み、柔和で、熱く温かい先生のまなざしの元で、私たち学生はその後の人生の基本となる考え方や生き方を導いていただけたことを深く感謝し、児童学科で先生と出会え、学べたことを誇りに思っています。

元児童学科教授 奥山清子

生涯教育

平成二十六年十月五日(日)ホームカミングデーの日にあわせ生涯教育講座を開催しました。講師は、小説『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子氏の孫で作家の村岡恵理氏に、「村岡花子と赤毛のアン」幸せな出会いの舞台裏」と題してご講演をいただきました。

平成二十六年四月から放送されたNHK連続テレビ小説「花子とアン」が九月に終了した直後の講演ということもあり、申込者が殺到し、定員を大きく上回る大反響となりました。ご参加をお断りした方には申し訳なく思っております。

講演では花子氏の生涯を様々なエピソードを交えながら話していただき、時には笑いも出る程でした。「曲がり角をまがった先に何があるのかはわからないの。でもきっと一番よいものに違いないと思うの」の言葉どおり、行く先に希望を与える素晴らしい花子氏の生涯をお話ししていただきました。受講者の方の生き方に参考になりました。ありがとうございました。

また、この度は本大学教授の赤松佳子先生のご尽力によりこの講演が実現し、アンの原書を始めとする展示にもご協力いただき感謝申し上げます。「世代を超えて子育て、自分育て」をテーマとして、今後も生涯教育講座を開催して参りたいと思います。



講演の要旨

※紙面の都合上、割愛させていただいた部分がありますことをご了承ください。

「みなさま、ごきげんよう」久しぶりのこの言葉。ドラマ『花子とアン』は九月二十七日に終了しました。六年前に書いた『アンのゆりかご』を原案にドラマ化するという話から一年九ヶ月、祖母のこと・ドラマのことに心がとられていました。私の中で花子は祖母でありながら娘のような存在。生い立ちから少女時代、青春時代。恋をし結婚し時代の流れに翻弄されながら運命の一冊の本に出会って、戦争中に少しずつ翻訳し出版。七十五年の祖母の生涯をたどり、喜び悲しみに寄り添い、激動の時代を追体験したので、テレビに映る(娘)の言動、描かれ方に終始ハラハラ、イライラ。本当はこうなのに、もっと大事なことがあるのに。視聴率も高く、皆様が喜んで下さったのですが、私はひとり眉間にシワを寄せていました。

花子は給費生として東洋英和女学校に入学し、カナダ人宣教師の先生方から、英語とキリスト教的ヒューマニズムを教え込まれました。この頃からペンで自立したいと考えていたようです。翻訳するためにはもともと日本語・日本文学を学びたいと焦っていたようです。そんな時、白蓮さんが編入して来ました。そして和歌の師・佐々木信綱先生を紹介されました。先生は、二十才で万葉集全注釈を成された巨匠で、花子は先生の万葉集の講義や和歌を学ぶ内に歌人になりたいと夢見ていたようです。和歌を詠むことで言葉に磨きをかけていきました。生涯尊敬する片山廣子さんとの出会いも佐々木先生のおかげだったので、この辺りのことがドラマで描かれず残念でした。

卒業後、山梨英和女子校で教師となった花子は、生徒達に創作本を読んで聞かせていました。当時の日本には、少女たちに清らかで夢を与え心に希望を与える本が少なかったのですが、西洋には子どもが大人になっていく間の指針となる本がありました。花子は生徒達の純粋な瞳に励まされて、大正六年二十才の時に初めての本『爐邊』を日本基督教興文協会から出版しました。その本の前書きには「家族で楽しめる読物を出版する」という花子の信念が示されています。

二年後、築地の興文協会が女性・子ども向けの翻訳・編集者として働き始めました。鈴木三重吉の『赤い鳥』が刊行されていた頃です。この興文協会の出版物を印刷していたのが福音印刷で、大正八年四月、村岡徹三に出会ったのです。翻訳していた『モーゼが修学せし國』の奥付には発行人・山室重平、訳者・安中花子、印刷人・村岡徹三と名前が並んでいます。祖

母の本にはそのページの横に、「魂の住家みいでし記念すべき日に「花子」と記して、二人が恋に落ちたことを物語っています。結核で実家に帰っている妻と子どもがいる徹三との恋はあがきの恋でしたが、難問を解決し、出会って半年後、二人は結婚しました。翌年、長男道雄が誕生し幸せな日々で、創作や仕事に対するモチベーションとなりました。

しかし、三十代の祖母に大きな試練が訪れます。大正十二年の関東大震災により、徹三の印刷会社が倒産。片腕であった弟が死に、先妻との息子も亡くして悲嘆にくれる夫を励ましたため、花子は出版社で働きました。最大の武器になったのは英語力。道雄に読み聞かせたいと出版した翻訳『小鳥のささやき』など仕事に没頭しました。そして同じ年、二人三脚で大森の自宅に青蘭社書房という出版社兼印刷所を立ち上げ、女性や子どもたちのための良書を安く提供することを志しました。この年の八月、道雄が六才の誕生日を前に疫病にかかって死去してしまいました。愛児を失った花子は立ち上がる気力をなくし、虚無の中に泣き暮らす日々で、神ささえも信じることができなくなっていました。百日を過ぎた頃の心境をエッセイに「道雄ちゃんから与えられたことで生まれた母性の火を消してはならない。道雄ちゃんには自分に天職を伝えるために神様から使わされた天使だったのだ」と綴っています。そう思うことで祖母は救われ、神とも和解して再び歩み出したのです。片山廣子さんから贈られた『ザ・プリンセス・アンド・ザ・ポパー』は『王子と乞食』として昭和二年に刊行され、巻頭には「わが幻の少年道雄の霊に捧ぐ」と、献辞が添えられています。そして堰を切ったように翻訳本を出版します。

運命の一冊となった『アン・オブ・グリーンゲイブルズ』はプリンセス学院を退職後、花子と同じ出版社に勤めたカナダ人婦人宣教師ミス・シヨーが昭和十四年、帰国する前に、友情の記念にと贈ってくれた本でした。花子は「曲がり角の先にも、きっと素晴らしい景色がある」というアンの精神に励まされて戦中を過ごします。戦後の焼け野原で人々の心の希望になるようにとの願いを込め、昭和二十七年に『赤毛のアン』が出版されました。その後七年間を通し、シリーズ十冊が刊行されたのです。『赤毛のアン』のすべての始まりは、その橋渡しをしてくれたミス・シヨーであったことを覚えておいて下さい。

「文責会報担当」

ホームカミング

平成二十六年十月五日(日)ノートルダム清心女子大学カリタスホールにおいて、平成二十六年度ホームカミングデーを開催いたしました。午前中の生涯教育講座に引き続きの開催となり、理事長様をはじめとするご来賓の先生方、同窓生あわせて一九七名もの大勢の方が参加されました。

理事長様の「お帰りなさい」のお言葉で始まった会は、一瞬で同窓生を学生時代にタイムスリップさせたような、楽しい笑い声であふれた華やかなものとなりました。

卒業五十年を迎えられた十二期の皆様には、記念品として理事長様のサイン入りご著書をプレゼントし、クラスフラワーをデザインしたお揃いのコサージュで胸元を飾り、理事長様を囲んでの記念写真をお撮りしました。海外から参加された方もおられ、四十名の同期生が思い深いひと時を過ごされました。

また、十九期の同期会も合わせてあり、同じテーブルを囲み大いに盛り上がりおられました。

ゲストとして、本学グリークラブのミニコンサートを行いました。後輩達の美しく優しい声と唱歌のメロディーに、心から懐かしく癒された大変喜ばれ嬉しく思いました。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は全員でイマキュラタと大学歌を合唱して閉会となりました。

平成二十七年度のホームカミングデーも十月二十五日(日)に学内で開催予定です。多くの皆様のお帰りを心からお待ちしております。



楽しい笑い声であふれた同窓生

卒業五十年を迎えた十二期生

昨秋のホームカミングデーには、卒業五十年の私達に、格別のおもてなしを頂きました。一人ひとりに手作りくださった「松」のコサージュ・大きく引き伸ばしてくださった懐かしい卒業写真・渡辺理事長様との記念撮影とご署名入り著書の贈物・そして美味しいお弁当を戴きながらの三時間は、青春時代に戻ったような楽しいひとときでした。遠く米国より、この日の為帰国なさった友を始め総勢三十六名が集いました。東京五輪・新幹線開通と正に高度成長真っ只中へ旅立ちまして半世紀、置かれた場所で一所懸命咲き続けて参りました。「これからも元気で咲き続けましょう」とまたの再会を約束し、台風接近の折、早めに帰路につきました。素晴らしい思い出をありがとうございました。

英文 金澤 俊子



十九期国文学科の集い

卒業して四十四年を経た私たちは、まさに団塊の世代の真ん中、人生は一段落とはいえ、まだまだ親の介護、孫の世話と忙しい時を過ごしている方の多かったことです。当日は、学科を越えて同期生同志の会話もはずみ、理事長様、学長様、恩師をお囲みして、笑顔のはじけた幸せなひとときを持つことができました。来年のホームカミングに、またぜひ集いましょう。どうぞお元気で。

大空 博子
小山 房子

フリージアの会

ルルド館の第一会議室は、月二回ともにごやかになります。明るく楽しそうな笑い声が、世代を越えての交流の場にこころよく響きます。

フリージアの会は奨学生支援バザーのために手作り品を製作し、販売をするボランティアグループです。バザーの収益金は全額、奨学金となります。

おしゃべりの合間にも手は休めません。代議員の方を始め、たくさんのお窓生が集まり、無理をすることなく、できる範囲で活動しています。後輩の奨学生を支援したいという気持ちから、心を込めて実用品を中心に製作に励んでいます。

二十六年度は京阪神支部総会で、各テーブルに作品を飾っていただき、フリージアの会の会員一同、とても喜びを感じ、これからの活動の励みになりました。

同窓生の皆様、フリージアの会に参加してみませんか。手芸初心者の方も大歓迎です。一度ルルド館へ見学にいらしてください。お待ちしております。



心を込めて作った作品の数々

ゆめ文庫

強力なネットワークに感謝!

前回の会報、五十号で「ゆめ文庫」の利用の輪をあなたの声で」と題して書かせていただきました。これをお読みになった卒業生の方のお声掛けにより、利用者が増えつつあります。

今までは、視覚障害をお持ちの方がお子様に、また、視覚障害のお子様ご自身が読むために利用して下さっていました。

しかし、会報五十号以降、視覚障害者の大人の方が、ご自分で楽しまつため、そしてさらに、視覚障害者の方が集まれるサロン「さわさわ」(京都)に点訳絵本を置いて、いらっしゃる方々にそこで利用していただけるよう便宜を図ってくださるといふ申し出もありました。

卒業生の皆様に感謝いたします。

全国にいらっしゃる皆様の強力なネットワークを今後期待してまいります。そして、更なる利用者拡大を今年も望んでいます。

皆様、「ゆめ文庫」に参加してみませんか。活動は、基本的に第二、第四木曜日の十時からです。お待ちしております。

(十八期 児童 粟井京子)

ゆめ文庫 新刊目録

1	ゆきだるまのあたま	黒田 かおる
2	メリークリスマスおおかみさん	みやにしたつや
3	ともだちどこかな (人権啓発絵本)	小川 雅史
4	いとでんわ	小林 実
5	てとてとてとて	浜田 桂子
6	せんろはつづく まだつづく	竹下 文子
7	せんろはつづく どこまでつづく	竹下 文子
8	白い街 あったかい雪	鎌田 實
9	ねずみくんとおてがみ	なかえ よしを
10	どんなに きみがすきだか	サム・マクブラットニイ
11	あいうえお えほん	とだ こうしろう



真剣に取り組んでいるメンバー

家政学部 家政学科

三十三同期会

平成二十六年七月十二日(土)大学を卒業して三十年、初めての同期会を開催いたしました。午後から大学のカリタスホールでの渡辺和子理事長様のご講演を拝聴させていただきました。懐かしい理事長様のお言葉で三十年前の学生時代に思いを重ねることが出来、貴重な時間を過ごさせていただきました。

夕方から、学科の恩師である榎並英子先生をお迎えして、夕食会を行いました。急な会の開催であったにも関わらず、静岡や大分からも参加して下さり、つかの間ではありましたがお互いの近況報告や学生時代の話で和やかな会になりました。

小林 茂美



エンジェル会

とても良い香り! 今日美味しそうなマフィンが焼けました。クッキー作りももう何年になるでしょうか。療育園の子供たちが楽しみにしてくれている活動の一つです。睦学園・児童院でも車椅子介助・絵本の読み聞かせ・歌・縫い物等小さな活動を続けています。待っていてくれる入所者の皆さんの笑顔に会えるのを楽しみに、また逆に我々が教えられ励まされて十年を超える年月が過ぎました。昨年は岡山市社会福祉協議会から表彰も頂きました。子供たちの中には、企業に就職したり、自立を目指したりと、とても頑張り屋さんが多いです。これからは、子供たちと一緒に出来る事を楽しく、無理しない活動を続けていきたいと思えます。好評のハンドベルも「七夕会」「クリスマス会」と嬉しい演奏会のオフアールもあります。練習に苦戦しながらも、仲間の励みで上手く演奏出来た時の嬉しい事! 皆さんに感謝でいっぱいです。

なかなか集うことが出来ないメンバーが会える絶好の機会です。皆さん是非ハンドベルからボランティア活動始めてみませんか?

(十七期 食品 高谷弘子)



奨学生支援バザー

平成二十六年「奨学生支援バザー」は、ホームカミングデーと大学祭に開催いたしました。
十月五日のホームカミングデーでは、フリージアの会の心のこもった手作り品を多くの方々に喜んで購入していただきました。

十一月二日の大学祭協賛バザーでは、全国から寄せられた寄贈品や遊休品を加えました。今年も同窓生がお揃いの清心カラーのブルーのエプロンを着用し、ヨゼフホールに一体感と躍動感を醸し出し一層仲間との輪を広げることができました。また新企画として同窓生の「マイショップ」を六店舗（ステンドグラス・おしゃやれで可愛い小物・アクセサリー・アートフラワー・ツールペイント・和装小物）出しました。どのショップも個性がキラキラ輝き、来場者の方々が思わず笑顔で作品に魅せられていました。大好評の喫茶コーナーや美味なクッキー販売も盛況のうちに終了いたしました。皆様一人ひとりの熱い思いを真摯に受けとめ次回になく新たな、心地よい一歩を踏み出していきたくと願っています。

多くの皆様のご支援ご協力に感謝致します。誠にありがとうございました。



個性あふれた作品のいろいろ

マイショップ出店希望者募集

二十七年度も、マイショップコーナーを企画しております。興味、関心がある方は、同窓会事務局までお問い合わせください。
TEL(086)25318496

奨学金事業

◆平成二十六年奨学生指導・報告会◆

奨学金委員会では、平成二十六年六月十四日と十一月十五日の二回、平成二十六年奨学生に対し、指導・報告会を行いました。
一回目は、奨学生は緊張した面持ちの中、自分の夢や目標について、決意を発表しました。二回目は、奨学生として感じたこと、具体的な就職内定の喜びなどを、なかなか雰囲気の中で、成長を感じられる指導・報告会となりました。

◆新たに五名の奨学生を決定◆

平成二十六年十二月十三日に新年度奨学生の選考会を開き、厳正な審査の結果、五名の奨学生を選出しました。

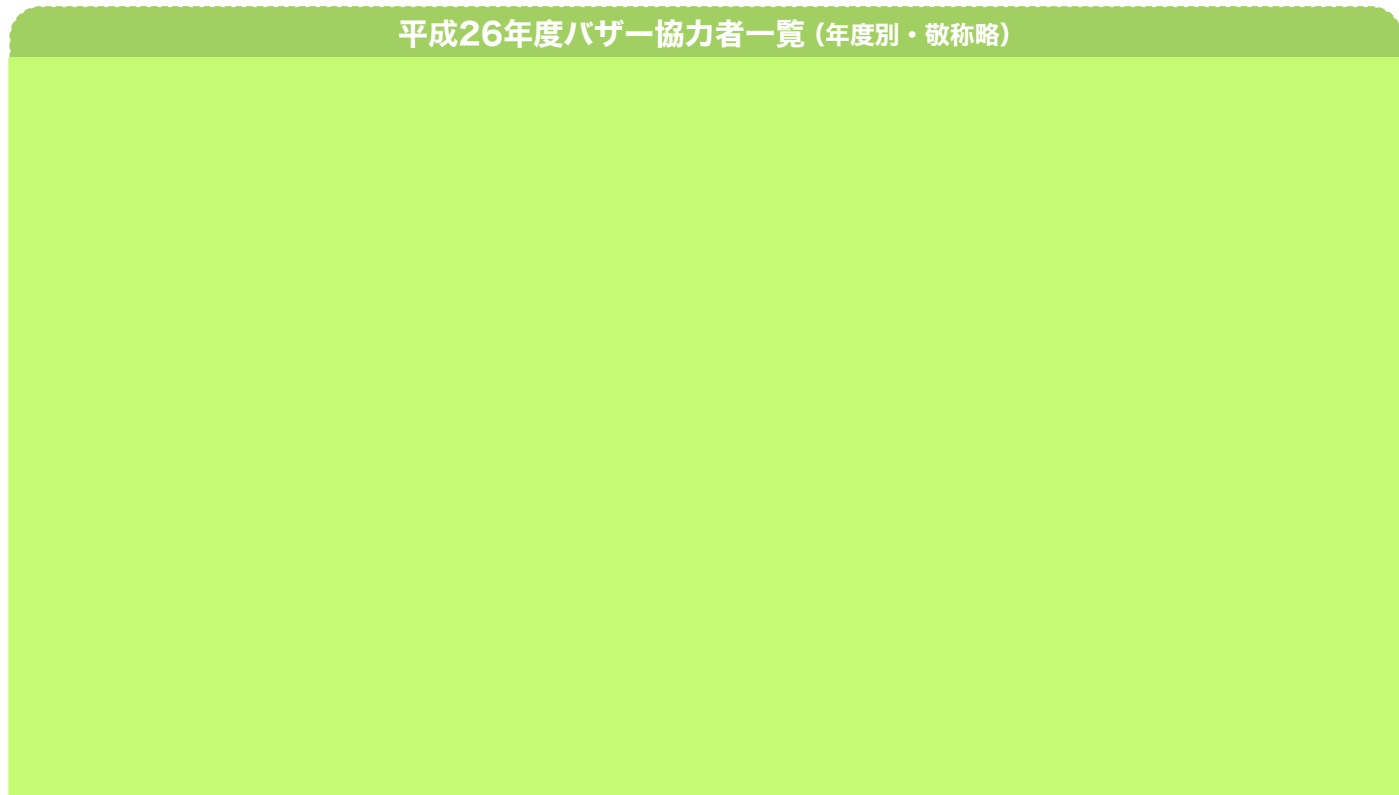
●奨学生代表の謝辞

この度は、ノートルダム清心女子大学同窓会奨学生に採用していただき誠にありがとうございます。こうして、ノートルダム清心女子大学同窓会奨学生授与式に臨ませていただきましたことを大変光栄に思い、また身が引き締まる思いでございます。

私は卒業後、幼稚園教諭として働きたいと考えています。自身の教養を深めるために、一・二年次では、障害のある子どもが通所する事業所でのアルバイトや本学の附属幼稚園や岡山市立の保育所、小学校でのボランティア活動に参加させていただきました。事業所では、主に自閉症スペクトラム障害や視覚障害をもつ子どもが在籍しています。そこでは、一日の流れが分かりやすいように予定を黒板に提示するなど共通の支援もありますが、勉強の補助や排泄時の言葉かけなど、個別の支援が重要視されています。これらの経験は、私に知識だけでなく、視野を広く持つことや一人ひとりを理解することの大切さを教えてくれました。

三年次では、授業の空き時間を利用して、地元の幼稚園でのボランティア活動に参加します。ここでは、友達との関わり方の変化に焦点を当て、長期的な目で子ども理解に努めたいと考えています。子ども達の成長過程を知るととも

平成26年度バザー協力者一覧(年度別・敬称略)



ステップアップセミナー

平成二十六年八月二日、岡山納涼花火大会日に合わせて、前年度好評でした「ゆかたの着付け」を引き続き、全日本作法家督・吉井睦美先生(十四期・国文)に実践指導して頂きました。

参加した学生の中には、初めてゆかたを着付けましたという学生もいて、最初は戸惑いながらも、吉井先生のユーモアにあふれたトーク指導に学生たち全員が、楽しそうに和やかな雰囲気になって、時間の経過も忘れてしまっていました。

これから社会人として、輝きながら飛躍してゆくための実践講座として、いろいろな角度から視野を拡げて「ステップアップセミナー」の内容を充実させてまいります。



先生、いかがですか

学生支援講座

学生の資格取得を支援する学内講座を開講しています。

なお新年度の講座においては、パソコン資格取得講座に、アウトLOOKをつけ加え、その他には秘書検定講座を開講致します。

昨年度の受講者数は次の通りです。

- 公務員試験対策学内講座 35名
- 教員採用試験対策学内講座 55名
- パソコン資格取得講座

Microsoft Office Specialist 資格対策講座

コース	受講者数
Excel スペシャリスト	161
Excel エキスパート	29
Word スペシャリスト	148
Word エキスパート	31
PowerPoint	52
合計	421

平成27年度 ノートルダム清心女子大学同窓会 奨学生一覧

2015年4月現在



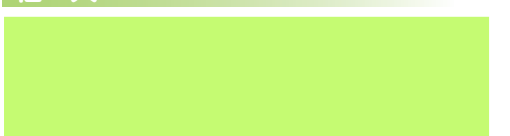
平成27年度奨学生証書授与式にて

平成26年度 同窓会奨励賞

団体

- 弓道部 (春季県内リーグ団体戦優勝)
- 美術部 (「招き猫美術館」とのコラボレーション)
- 漫画研究部 (大学祭でのアイデアと工夫のある展示)
- 歴史広報部ヒストリアーノ (頻繁に部誌を発行)

個人



●京阪神支部 (2,265人)

昨年8月24日、ホテルグランヴィア京都におきまして、第25回総会・懇親会を開催いたしました。当日は210名の同窓生と理事長様、学長様、学長補佐菊永先生、片岡先生にご臨席賜り、終始和やかな会になりました。

今期は4月より37・38期の役員がバトンを引き継ぎ、第26回総会に向けての準備を始めました。同窓生の絆を大切に、また母校の発展のために力を合わせて務めてまいります。来夏はぜひ京都にお越しくださいませ。

支部長 村中扶美恵



同窓生の絆を大切に

●鳥取支部 (89人)

今年度の支部総会にあたって、いつものように同窓生の皆さんに御案内状を送らせていただきました。今回はいつもにもまして出欠のお返事で沢山の近況報告やメッセージが寄せられました。それぞれの理由や状況で一度も出席できずにおられる方々の「いつか私も是非…」とのお声などもいくつかいただき、とても嬉しく思いました。未だに参加のチャンスを逃していらっしゃる皆様、今年こそ是非お会いいたしましょう。お待ちしております。

支部長 三輪洋子



いつか私も是非…

●岡山県支部 (15,273人)

今年度は、昨年9月に第17回ノートルダムトロフィー・English Speech Contestを開催し、17名の高校生が県内外から参加、素晴らしいスピーチを聴かせてくれました。

また「地域花みずき会」は東備地域(第10回)、総社地域(第4回)、吉備地域(初回)の3か所で開かれ、会員相互の親睦を深めることができました。

そして今年度は、6月21日に「第10回総会・親睦会」を開催いたします。親睦会では同窓生によるアトラクションなど楽しい趣向もあり、心温まる楽しいひとときが持てたらと思います。

支部長 片山幸子



流暢な英語で自分の主張

●四国支部 (940人)

昨年6月1日に、第15回四国支部総会・懇親会を今治国際ホテルで開催しました。

総会后、渡辺和子理事長様に「人格論のアフターケア」と題したご講話をして頂きました。高木孝子学長様には、社会の中での大学の役割についてなど、学長補佐菊永茂司教授からは、大学の現況についてお話を伺いました。

続く懇親会は、テーブル毎にお客様を囲んで親睦を深める時間になりました。また、参加できなかった方からの返信葉書に記された近況を抜粋しまとめたものを準備し、理事長様、学長様にもお伝えすることができました。

新しい試みとして、62期卒業の同窓生45名に、支部からのお知らせと支部規約をお送りしました。支部会への理解が得られていることを実感しています。次の総会開催は28年度です。

支部長 土岐久美子



充実した楽しい時間

●広島支部 (1,633人)

昨年8月17日に第24回総会・懇親会を開催いたしました。理事長様、学長様、学長補佐菊永先生をお迎えし、懐かしく温かいひとときを過ごすことができました。本学卒業生で、NPO法人「子どもシェルターモモ」専務理事の西崎さんのご講演では「子どもの居場所」を守るために奔走しておられる姿に一同感銘を受けました。私達も「小さき人々」のために心を尽くす人でありたいと願いながら、笑顔のうちに会を終えることができました。

支部長 藤澤陽子



懐かしく温かいひととき

●九州支部 (730人)

昨年8月3日鹿児島サンロイヤルホテルにて第17回九州支部総会・懇親会を開催致しました。渡辺理事長様、高木学長様、山下光昭名誉教授をお迎えし、まるで女子大生に戻ったかのように学生時代の思い出に花を咲かせ心温まる時間を過ごすことが出来ました。会の最後では39期国文の野間口さん指揮、44期食品栄養の市来さんのバイオリン演奏で大学歌を歌い和やかな雰囲気のまま閉会致しました。次回は長崎です。またお会い致しましょう。

支部長 土井添美穂子



バイオリン演奏で大学歌を

■平成26年度支部長会報告

平成27年2月14日(土)ノートルダムホール中央棟8階会議室において、平成26年度の支部長会を開催しました。全国9支部からお集まりいただき、各支部の様子や活動を伺いました。和やかな中、活発な意見交換もでき有意義な会となりました。



★支部会費納入のお願い★

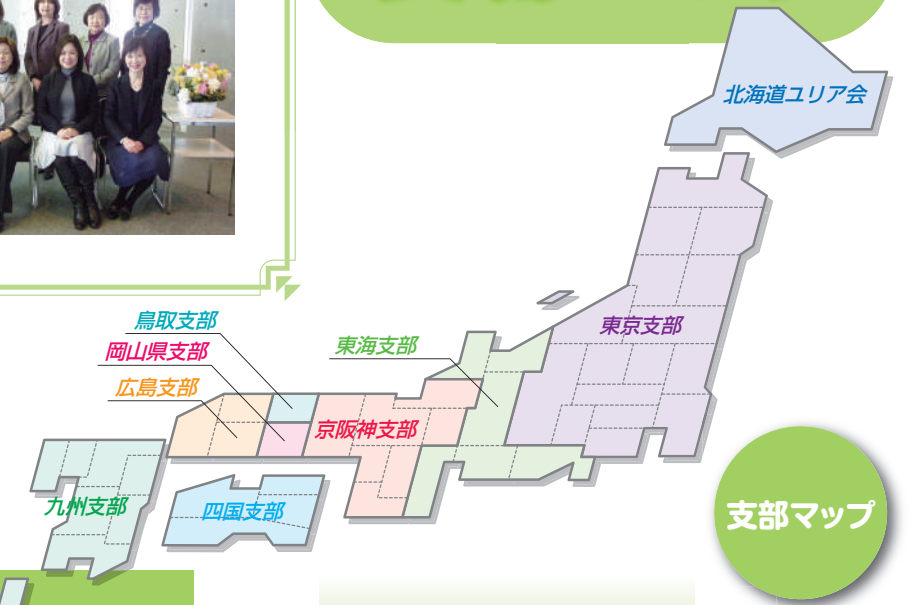
同窓生は、同窓会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくお願いたします。

■平成27年度支部総会開催予定表

支部名	日時	場所	招待者(敬称略)
岡山県支部	6月21日(日) 10:30~14:00	カリタスラウンジ	渡辺理事長・高木学長
北海道ユリア会	9月7日(月) 11:30~14:00	KKRホテル札幌	
東京支部	8月29日(土) 11:00~14:30	ホテルグランドパレス	渡辺理事長・高木学長 葛生栄二郎・本保恭子
東海支部	11月29日(日)	ホテルサンルートプラザ名古屋	渡辺理事長・高木学長 本保恭子

※各支部の会員数は平成27年4月30日現在のものです

支部だより



支部マップ

全国9支部から、活動の様子が届きました。

●北海道ユリア会 (53人)

昨年10月に渡辺和子理事長様にご講演で札幌にお越しになられました。お忙しくお疲れのなか、お時間を割いて下さりまして、お食事をご一緒させて戴くことができました。心豊かな幸せなひとときを過ごせましたことを感謝申し上げます。

本年9月7日に総会を開催致します。皆様にお会いできますことを楽しみにしております。

代表 小池裕子



心豊かな幸せなひととき

●東京支部 (2,139人)

東京支部では、36期・37期が役員となり、お世話をさせていただいております。昨年には同窓生の皆様の交流の場として活用していただけるよう、Facebookを開設いたしました。

8月29日(土)に九段下のホテルグランドパレスで開催いたします支部総会・懇親会には、渡辺理事長、高木学長、葛生栄二郎先生、本保恭子先生のご臨席を賜ります。よりよい会となりますよう、精一杯の準備を進めております。おひとりでも多くの同窓生の皆様に参加していただきたいと思っております。

■Facebook <https://www.facebook.com/ndsutokyo> ■ホームページ <http://ndsutokyo.fem.jp/>

支部長 中瀬順子



吉祥寺の修道院にて

●東海支部 (630人)

東海支部は今年、2年に一度の支部総会・懇親会の年となっております。東海支部の皆様にはご案内状を差し上げましたが、11月29日にホテルサンルートプラザ名古屋にて開催いたします。渡辺理事長、高木学長、児童学科の本保恭子先生にご臨席いただく予定です。皆様、どうぞ懐かしい母校の雰囲気を味わいにお越しください。34期から37期のスタッフが心をこめてお迎えいたします。

支部長 高橋真弓



秋にお会いできることを楽しみに

期・科	氏名
大56期・英	高原 佐知子
大56期・生	江 國 未 來
大56期・生	野 瀬 裕 子
大57期・英	坪 本 由 佳
大57期・生	立 石 麻美子
大57期・児	秀 梓
大57期・食	藤 田 雅 子
大58期・食	井 上 結 貴
大58期・食	柏 瀬 晴 子
大59期・生	小 林 由 佳
大60期・日	石 原 三希江
大60期・日	久木野 優 子
大60期・社	横 尾 早奈恵
大61期・日	笠 原 彩 奈
大61期・日	信 江 有 紀
大62期・日	西 川 綾 華
大62期・日	渡 邊 貴 子
大63期・生	石 田 みずえ
大63期・社	笹 治 里

(2015.5.25現在 109名)

★代議員について★

日頃は代議員として活動していただきまして感謝しております。一部交代の方もあり、ここに改めて氏名を掲載します。
年一回の代議員総会は、本会の最高議決機関です。それにご出席(委任状含む)頂き、同窓会の活動や、会の在り方などご審議ください。

期・科	氏名
大34期・国	前 田 敦 子
大34期・家	岸 本 晴 美
大35期・国	時 久 祐 子
大35期・家	中 野 明 子
大36期・食	青 木 泉
大37期・食	渡 部 睦 美
大37期・食	石 井 知恵子
大38期・国	近 藤 美智子
大39期・児	木 村 久 恵
大39期・食	山 本 小百合
大40期・英	中 内 香
大41期・英	高 野 友 紀
大41期・家	吉 村 香 里
大42期・家	井 上 圭 子
大43期・家	内 藤 知 美
大44期・英	仁 科 麻 紀
大44期・国	東 山 有 未
大45期・国	松 岡 一 美
大45期・家	岡 村 亜 希
大46期・家	清 水 薫
大47期・食	北 原 香 奈
大48期・児	堀 米 直 子
大49期・英	筒 井 智 美
大50期・英	西 川 照 美
大51期・英	高 橋 三紗子
大52期・日	内 藤 景 子
大52期・食	菱 川 明 子
大53期・生	苗 松 亜耶子
大54期・食	金 谷 祐 子
大55期・社	神 原 芳 里

期・科	氏名
大18期・児	平 野 順 子
大19期・国	上 野 和 子
大19期・食	坂 本 鈴 子
大20期・国	須 江 秀 子
大20期・児	稲 田 敏 子
大20期・食	片 岡 富 子
大21期・国	鳥 取 温 子
大21期・食	小 山 育 子
大22期・英	森 田 恵 子
大22期・家	福 田 典 子
大23期・国	長 野 育 子
大23期・児	棕 代 公 子
大24期・英	神 浦 由 里
大24期・食	河 合 博 美
大25期・英	川 口 礼 子
大25期・国	大 河 原 桂 子
大26期・英	豆 谷 裕 子
大26期・国	福 田 澄 恵
大26期・児	牧 豊 子
大27期・家	服 部 裕 子
大28期・家	片 岡 一 恵
大28期・家	河 原 秀 子
大28期・食	長 尾 祥 誉
大29期・児	金 光 真 里
大30期・英	畑 野 比呂美
大30期・食	藤 田 雅 子
大31期・英	佐 藤 由美子
大32期・家	佐 久 間 敦 子
大33期・英	高 木 祥 子
大33期・国	那 須 英 糸

期・科	氏名
専 4期・英	宮 谷 照 子
専 5期・保	中 張 悦 子
大 3期・家	岡 部 泉
大 6期・英	鈴 木 菊 子
大 6期・家	藤 井 倫 子
大 7期・家	大 熊 庸 代
大 8期・英	信 岡 敦 子
大 8期・国	石 井 良 枝
大10期・英	大 熊 昌 子
大10期・国	古 田 啓 子
大10期・家	元 井 和 子
大11期・英	佐々木 道 子
大12期・国	杉 本 香奈恵
大12期・家	齋 藤 緑
大13期・家	光 藤 明 子
大14期・国	入 江 浩 子
大14期・家	嘉 数 歳 子
大15期・国	香 山 キミ子
大15期・家	石 津 ミチ子
大16期・英	岡 本 恵美子
大16期・家	山 本 知 子
大16期・家	百 合 草 孝 子
大17期・国	天 野 ひろみ
大17期・家	岡 本 瑠 美
大17期・食	山 本 祥 子
大18期・英	神 本 富 子
大18期・国	上 川 和 子
大18期・家	近 藤 久 子
大18期・家	高 木 知恵子
大18期・児	小 郷 原 恵美子

平成二十七年年度代議員名簿

平成二十七年年度同窓会代議員総会

平成二十七年年度同窓会代議員総会は、平成二十七年五月三十日(土)、代議員十五名、委任状出席七十五名の参加で開催され、提出議案はすべて承認されました。

評議員として北海道ユリア会、東京支部、東海支部、京阪神支部、鳥取支部、岡山県支部、四国支部、広島支部、九州支部の支部長が参加くださいました。

第一号議案
平成二十六年度事業報告及び収支決算承認の件

第二号議案
平成二十七年年度事業計画及び収支予算承認の件



代議員総会での熱心な審議

平成27年度 文化講座

講座名	講 師	内 容	定員	曜日・期間等	受講料(全納)	教 材 費
文 学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤 羽 淑	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	20人	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回)14:00～15:30	26,000円 (1カ月/2,600円)	テキスト代
ペン習字	文部科学省後援硬筆筆書検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田 中 慎 子 (更 愁)	文部科学省後援硬筆書写検定3級、2級、1級の合格を目指して公的資格を取得する。及び実用書の練習を通して文字の上達を目指して書の文化にも触れる。はがき・手紙にも挑戦して生活を楽しむ。	各クラス 10人	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日13:30～14:40 ②毎週水曜日15:00～16:10	18,200円 (1カ月/2,600円)	テキスト代 資料代他・初回 (3,500円～3,800円) 書写検定受験者は 受験料と参考書必要
きもの着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉 井 陸 美	ゆかたから留袖まで自分で着られるようになる。和の文化についても学べるし、マナーも身につけることができる。人に着せ付けることも可能。講師の資格も取得できる。	各クラス 20人	5月～7月、10月～2月 ①毎週金曜日10:00～12:00 ②毎週金曜日13:30～15:30	24,800円 (1カ月/3,100円)	テキスト代・初回 (4,030円税込)
謡曲・仕舞(観世流)	日本能楽会会 京都観世会副会長 職分 林 喜右衛門師	能楽の台本である謡を通し、日本の文化・歴史を知り、仕舞を通して舞を学ぶ。	6～7人	火曜日(月2回) 10:00～15:00 稽古所要時間は 1科目 20～30分	謡曲のみ(1カ月) 一般3,000円 学生2,000円 謡曲と仕舞(1カ月) 一般6,000円 学生3,000円	謡本 [初心本・5曲入り] (3,780円) 扇(4,000円)
茶 道 (武者小路千家)	武者 小路 千家 正 教授 笹 井 浩 子	茶道を学ぶことで、和の文化を知りマナーを身につける。茶会への参加もある。	10人	5月～3月 毎週火曜日 10:00～15:00	22,000円 (1カ月/2,000円)	水屋料・月額 (500円)
日本舞踊 (正派若柳流)	正 派 若 柳 流 師 範 公益社団法人 日本舞踊協会会員 若 柳 桃 保	日本舞踊を身近に感じてもらえる様、初心者の方でも親しみやすい曲、また、小唄・端唄と様々なジャンルを用いて日本舞踊の指導を行う。	20人	第1・3木曜日 10:00～12:00	1カ月/3000円	ゆかた、足袋等の 準備が必要な場合 がある

※ 5月開講ですが、申し込みは随時受け付けます。

申し込み、問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496

監 査 報 告

平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
- (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

以 上

平成27年 4月24日

ノートルダム清心女子大学同窓会

監査委員 横溝 宏美
監査委員 田中 恵子
監査委員 高橋 ひとみ

大学からのお知らせ

大学ホームページ「清心アーカイブズ」

同窓生の皆様には平素から資料情報のご提供をいただきありがとうございます。

2014年夏に、大学ホームページ企画「清心アーカイブズ」をリニューアル公開しました。大学の歴史、人物、建物、キーワードを掲載しています。大学公式ブログも定期的に更新し、卒業生の方への情報提供を増やしてまいりますので、ぜひご覧ください。



今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

* 資料編集室では本学に関する資料を収集・保存しています。本学資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、資料編集室までご連絡くださいますようお願いいたします。

資料編集室 TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035
E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp
* お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半(祝・本学休業日を除く)

ありがとうございました
—この春ご退職の先生方—

文学部教授 神原俊治先生 人間生活学部准教授 遠藤美智子先生
人間生活学部教授 水谷節子先生 人間生活学部准教授 大石純子先生
人間生活学部教授 稲森義雄先生 人間生活学部講師 藤村省蔵先生
人間生活学部教授 大西孝司先生 人間生活学部助手 今有紀子先生
人間生活学部教授 太郎良裕子先生 人間生活学部助手 曾我部 咲先生

入試広報部より

●2015年度 オープンキャンパスのご案内

- 6月 6月28日(日) ■10月 10月3日(土)
- 7月 7月19日(日) ■3月 2016年3月21日(月)
- 8月 8月2日(日)

* 事前にお申し込みのうえ、ご参加ください。
* オープンキャンパスに参加できない方のためにサタデーキャンパス、相談会ウィークも開催しています。

○詳しくは、ホームページをご覧ください。
入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

「食品栄養学科創設50周年記念式典ならびに祝賀懇親会」のご案内

本年、食品栄養学科は、1965(昭和40)年開設から50年の節目の年を迎えます。つきましては、「食品栄養学科創設50周年記念式典ならびに祝賀懇親会」を開催いたします。多くの食品栄養学科卒業生の皆様にお集まりいただきたく、謹んでご案内申し上げます。

- 日時：2015年11月8日(日) 午後1時30分～3時30分(記念式典) ●場所：本学(ヨゼフ300)
- 午後4時～6時(祝賀懇親会) 岡山ロイヤルホテル

「食品栄養学科創設50周年記念式典ならびに祝賀懇親会」実行委員会 委員長 北畠直文
連絡先：食品栄養学科合研 石井綾奈 Tel 086-252-2297 E-mail:nutri2@pluto.ndsu.ac.jp

2015年度 清心フェリーチェ開講講座

特別講演

ノートルダム清心女子大学 学長 高木孝子	7月4日(土) 13:30～15:00	中年期の危機と挑戦 —許せる人になるために—	無	料	ノートルダム清心女子大学 カリタスホール(定員:470名)
ノンフィクション作家 柳田邦男	10月31日(土) 13:30～15:00	最後の刻まで生きるとは	一般	1,000円 学生 500円	

* 特別講演は、往復はがきによる事前の申し込みが必要です。
申込み方法の詳細については、ノートルダム清心女子大学生涯学習センター事務室まで、お問い合わせください。

聖書講座

～聖書の人間観～

時間：13:30～15:00
定員：80名
受講料：一般 1,500円、学生 750円

第1回	11月14日(土)		「肉」と「霊」
第2回	11月21日(土)	上智大学名誉教授 雨宮 慧	「嘆き」と「賛美」
第3回	11月28日(土)		「生」と「死」

お問い合わせ先▶ 生涯学習センター事務室 〒700-8516 岡山市北区伊福町2丁目16-9 E-mail:opc@post.ndsu.ac.jp
TEL 086-252-7045 FAX 086-252-7044

平成27年度生涯教育講座開催のご報告



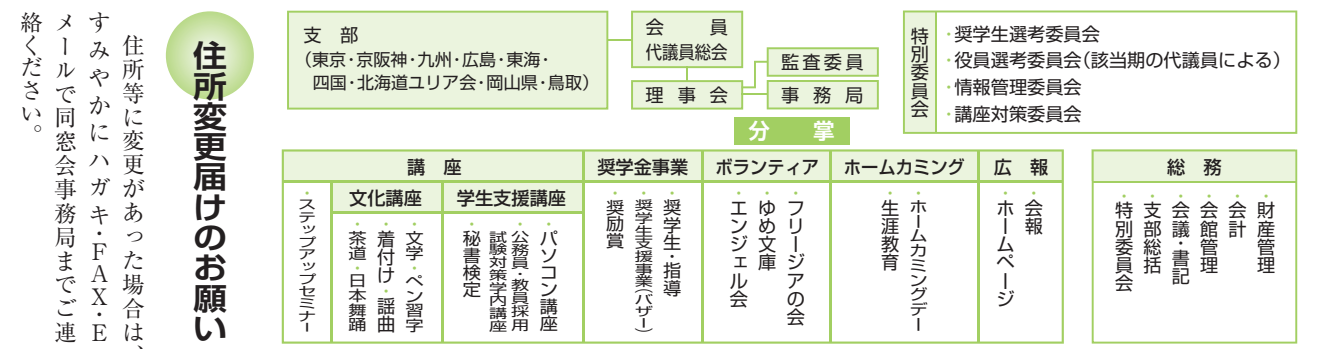
平成27年度の生涯教育講座は去る5月30日(土)代議員総会の日の午前に、学内ヨゼフホール(旧寮)において、本学卒業生であり、がんと闘いながら多方面にご活躍の、学校法人ザベリオ学園 学園長 守屋博子さん(11期 英文)に「生かされて、生きる喜び～20年前から癌とともに生きる～」との演題でご講演いただきました。

部屋の名称	収容人数	使用料					
		(会議・会合等) 4時間以内		宿泊(1泊・1名) 16時～翌日9時			
		平日: 9時～16時 土曜日: 9時～14時30分	①	②	①	②	
1F 第1会議室	25人	3,000円	4,000円				
1F 第2会議室	14人	1,500円	2,000円				
2F うめ(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円		
2F かえで(和室)	7～8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円		
備考		超過料金 (1時間につき各料金の2割増し)		寝具はリース(実費負担)			

- 使用目的
会合・研修・宿泊
- 使用できる人
① 学生・同窓生・岡山清心女子専門学校・ノートルダム清心女子大学現旧教職員(客員)及びその家族
② 附属校、姉妹校関係者及びその家族・同窓会理事
会が承認した者
- 休館日
日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジデントデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

同窓会館利用のしおり

組織図



平成27年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所：10月25日(日) 11:00～14:00 (ホームカミングデー) カリタスラウンジ
- ・11月7日(土) 10:00～15:00 (大学祭協賛) ヨゼフラウンジ
- 内 容：手作り品の販売他・喫茶コーナー(大学祭当日)
- お 願 い：手作り品、遊休品をご提供ください。
受付期間：7月1日～10月末日(同窓会事務局まで)
・奨学生支援の寄付金は同封の振込用紙をご利用ください。

フリージアの会の活動

- 日 時 第2火曜日・第4土曜日 10:00～14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場 所 ルルド館 第一会議室

ボランティア募集中!

- ゆめ文庫の活動
■日 時 第2・第4木曜日 10:00～16:00
■場 所 ルルド館 第二会議室(2F)
■内 容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)
- エンジェル会の活動
■旭川荘
・療育園 第3・第4土曜日(10:00～12:00)
・睦学園 第1・第3金曜日(9:30～10:30) 第1火曜日(10:00～11:00)
・児童院 第3・第4火曜日(11:00～13:00) 第4水曜日(10:00～12:00)
■ルルド館
・ハンドベルの練習 第2水曜日(10:00～)・第3土曜日(13:00～)

ホームカミングデーのご案内

渡辺和子理事長様の米寿のお祝いを

平成27年度 ホームカミングデーを下記の日程で開催いたします。
この度、渡辺和子理事長様が米寿をお迎えになりました。
私たちのささやかなお祝いと心からの感謝の思いをお伝えしたい
と願い、平成27年度『同窓生の集い』を計画しております。
皆さまお誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。



記

- 日 時：平成27年10月25日(日) 11:00～14:00 [受付10:00～]
- 場 所：ノートルダム清心女子大学 カリタスラウンジ
- 内 容：同窓生の集い ・理事長様のご講話(30分)
・会食
・フリージアの会による手作り品の販売

- 参 加 費：3,500円(昼食代含む)
- 定 員：300名 ※先着順に受付し、定員になり次第締め切ります。
- 申込み方法：往復はがきにてお申し込みください。

結果は随時お送りしますので、その後に、会報に同封の振込用紙にてお振込みください。

※出席の方につきましては、当日配布資料のご出席者名簿にお名前を掲載いたしますことをご了承下さい。

- 注 意 事 項：駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- お問合わせ：ノートルダム清心女子大学同窓会
〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9
TEL&FAX (086)253-8496
E-mail:rurudo@theia.ocn.ne.jp

往信 〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 ノートルダム清心女子大学同窓会 生涯教育係	無記入	返信 住所・氏名	「同窓生の集い」の 参加希望します ・〇〇期 ・〇〇科 ・電話番号
---	-----	-------------	---

図1 往復はがきの記入例

六期生の皆様へ

ごきげんいかがですか？今年には人生節目の年「傘寿」ですね！？前回同期会をして既に6年経ちました。元気なうちに再度懐かしい学び舎に集い、母校の目覚ましい発展ぶりを眺め乍ら年相応の情報交換を楽しみませんか？ご出席の人数が把握出来れば、二次会のプランを具体化する心積もりしておりますから、早めにお申込み頂ければ好都合です。尚、妙案やご注文があればお申し越してください。ごきげんよう。

- 日 時 平成27年10月25日(日)
- 場 所 カリタスラウンジ「同窓生の集い」にて
- 申込方法 「同窓生の集い」と同じです。
- 締 切 り 7月10日(厳守下さい。)
- 連絡先 ●八村(蜂谷)節子 TEL(0863)31-0697
●鈴木(小田)菊子 TEL(086)238-8805

●題字 高木聖鶴

●表紙 ジュリーホール北側の桜並木より中央棟を臨む

中央棟は1995年に完成した、学内で一番高い地上12階の総合施設。講義室や研究所、会議室のほか、最上階には、ノアの箱舟を模した小聖堂、塔屋にカリヨン(組鐘)を掛け、12時と18時に時を告げています。

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付

●同窓会・各支部・各支部の活動支援

●会員確認調査

●会員名簿の作成

の目的範囲内を超えて使用及び提供はしない。

(会員からの申請)

会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

編集後記

会報51号をお届け致します。

平成二十六年年度の「生涯教育講座」では、NHK朝の連続ドラマ「花子とアン」の原作者である村岡恵理氏をお迎えし、ご講演をいただき好評を博することができました。

また、十二月には児童学科創設五十周年を祝う会が開催されました。御臨席いただいた江草安彦先生が三ヶ月後に突然御逝去なさいました。江草先生は児童学科の基礎を築かれた初代学科長であり、学長補佐として大学の発展に多大な寄与をしてくださいました。今後は先生の御遺志を無駄にしないよう精進してまいりたいと存じます。

先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。会報への御意見、御感想などを広報部までお寄せください。

会報編集委員

- 十四期・家 政 世良 佳子
- 十五期・国 文 実光 詔子
- 二十一期・国 文 伊丹三保子
- 二十四期・英 文 佐藤 泰子
- 二十四期・英 文 久一 純子
- 二十九期・英 文 前田 明美